

▼プロラム口腔用液 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ミダゾラム Midazolam 【分類】抗けいれん剤 [BZ系]

【単位】▼2.5mg/0.5mL・▼5mg/1.0mL・▼7.5mg/1.5mL・▼10mg/2.0mL

【常用量】年齢により1回2.5~10mg

【用法】頬粘膜投与

在宅での使用の場合は追加投与不可

【透析患者への投与方法】常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (5)

【特徴】ミダゾラムの頬粘膜（きょうねんまく）投与製剤。てんかん重積（熱性けいれんを含む）の病院前対処に使用。ジアゼパム坐剤よりも意識回復までの時間が短い。内服しても吸収されるので、薬物作用は頬粘膜からの吸収と意図せず服用した消化管からの吸収の経路が合わさったものと考えてもよい。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【吸収】頬粘膜から主に吸収されるが、嚥下しても消化管から吸収される (1)

【F】74.5% (1) 0.3mg/kg の比較試験ではAUC比9割程度 (1) 飲み込んだ場合の吸収率50%程度 (1)

【tmax】30分以内 (1) けいれんの50%消失時間5分程度、意識レベルの回復30分で70% (1)

【代謝】CYP3A4/5で代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率1%未満 (1)

【t1/2】2~4hr (1)

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W係数】

【主な臨床報告】

【備考】苦みあり。注射剤と同じ濃度であり、吸収促進剤などは使用していないので、注射剤を使用しても理論上は同じ効果となる。1回につき14本までの院外処方可。ニードル取り付けできない形状

【更新日】20211204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。